

まつはし 松橋遺跡 (第2次)

| | |
|-------|---|
| 遺跡番号 | 208-138 |
| 調査回数 | 第2次 |
| 所在地 | 山形県村山市大字名取字松橋 |
| 北緯・東経 | 38度30分03秒・140度22分15秒 |
| 調査委託者 | 国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所 |
| 起因事業 | 東北中央自動車道(東根～尾花沢間) |
| 調査面積 | 1,800㎡ |
| 受託期間 | 平成25年4月1日～平成26年3月31日 |
| 現地調査 | 平成25年6月3日～10月23日 |
| 調査担当者 | 氏家信行(現場責任者)・森谷康平 |
| 調査協力 | 東日本高速道路株式会社東北支社山形工事事務所・村山東根土地改良区・村山市教育委員会・村山教育事務所 |
| 遺跡種別 | 集落跡 |
| 時代 | 平安時代・中世 |
| 遺構 | 掘立柱建物跡・溝跡・井戸跡・土坑・柱穴等 |
| 遺物 | 石器・土師器・須恵器・陶磁器・石製品(文化財認定箱数:10箱) |



遺跡位置図 (S = 1 : 50,000)

調査の概要

遺跡は、村山市東部に位置し、村山市役所から北西約500mの名取地区の松橋集落の自然堤防に立地する。現況は畑地・果樹・宅地で、南側を市道浮沼名取線が走る。

平成11年度に山形県教育委員会により遺跡として登録され、平成21年度と24年度に実施された試掘調査の結果、溝跡や柱穴などの遺構や土師器などの遺物が見つかったことから発掘調査が必要と判断された。

今回の調査は、東北中央道(東根～尾花沢間)建設工事に伴う緊急発掘調査で、平成22年度に続く第2次調査である。事業実施範囲内の第1次調査で未調査部分であった、南東部分の約1,800㎡について調査を行った。

調査は、重機を使用して表土を掘削した後、土を削る遺構検出作業、そして、遺構の掘り下げと併行して写真撮影や図面作成などの記録作業を進めた。

遺構と遺物

遺構は、掘立柱建物跡、溝跡、井戸跡、土坑、柱穴と遺構の集中区域が調査区中央東側に検出された。

建物跡は、柱間距離が2.0～2.5mを測る、2間×3間の規模を持つ、南北軸のもの1棟が確認され、柱穴から土師器が出土した。出土遺物の特徴や柱穴の大きさなどから、古代の建物跡と考えられる。

溝跡には、調査区をほぼ直角に曲がる区画施設と考えられるもの、第1次調査区から続く、調査区を東西に横断する溝跡がある。

井戸跡は10基確認された。全て素掘りのもので、開口部と底面の広さがほぼ同じになる寸胴型のものと、開口部が広く底面が狭くなる播鉢型のものが認められた。

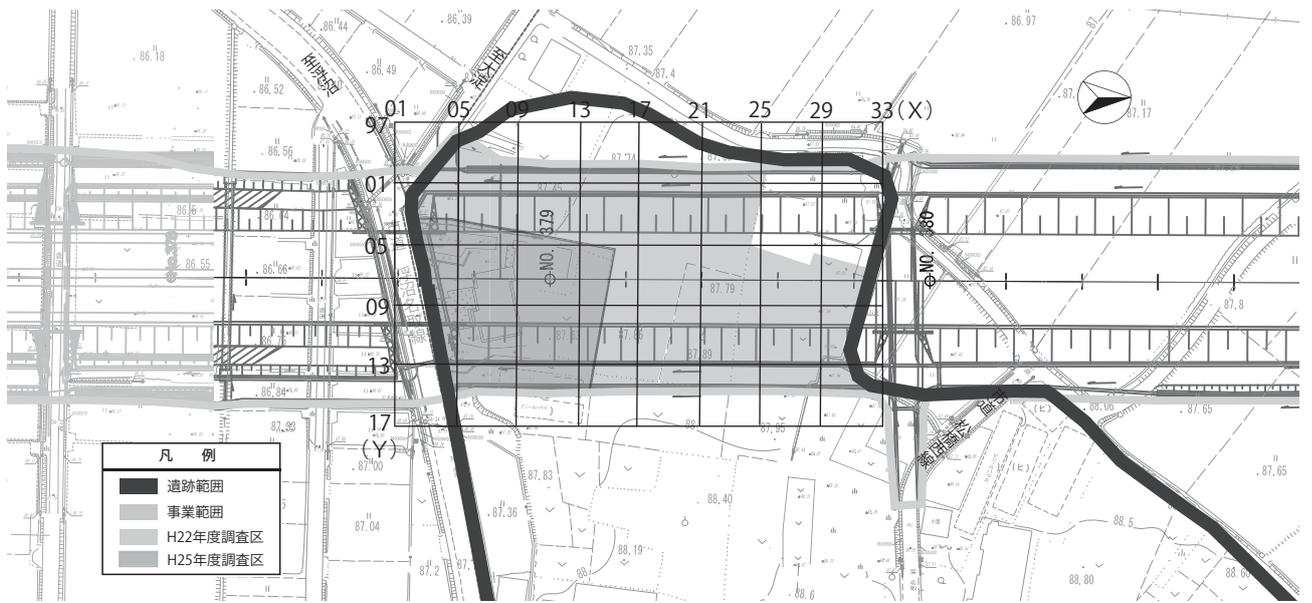


図1 調査区概要図 (S = 1 : 2,000)

その形態の違いから構築時期が違うと考えられ、覆土から石鉢が出土したものがあ。第1次調査と合わせて22基の井戸跡が確認された。

土坑や柱穴は、重複するものが多く検出された。特に中央東側の集中域は、建物の建てかえが行われた様相を示し、数棟の建物の存在が考えられる。

遺物は、平安時代の土師器と須恵器が多く出土したが、破片が大半を占め保存状態は良くない。

土師器は赤褐色の素焼きの土器である。器種は坏や高台付坏、甕などが多くみられる。

須恵器は窯で焼かれた灰色の土器である。器種は甕の体部や底部、坏などで土師器に比べ出土数は少ない。

これらの土器は、坏の底部切り離し痕や器形などから9～10世紀頃の所産と考えられる。その他にも、石鉢、^{すずり}硯、^{かんじょうどすい}砥石、管状土錘や中近世の陶磁器も出土した。また、1点のみだが、縄文時代の石鏃もある。1次調査でも、縄文土器が出土していることから、周辺に縄文時代の遺跡の存在が推測される。

まとめ

今回の調査では、掘立柱建物跡、溝跡、井戸跡、土坑などの遺構が検出され、土師器、須恵器、石製品、陶磁器などが出土し、第1次調査区から続く平安時代から中近世にわたる集落の痕跡が確認された。遺跡の特徴としては、第1・2次調査を通し、竪穴住居が無かったことと井戸跡が多く掘られていることが挙げられる。そして、

今後の詳細な検討が必要であるが、区画施設とも考えられる直角に曲がる溝跡、掘立柱の建物群を推測させる遺構の集中区域などからは豪族の館跡の可能性があ。また、今回の遺構の配置を見ると、集落はさらに東側に広がることが明らかになった。



写真1 調査区全景 (北から)



写真2 作業風景 (北から)



図2 遺構配置図 (S = 1 : 300)



写真3 遺跡全景（北から）

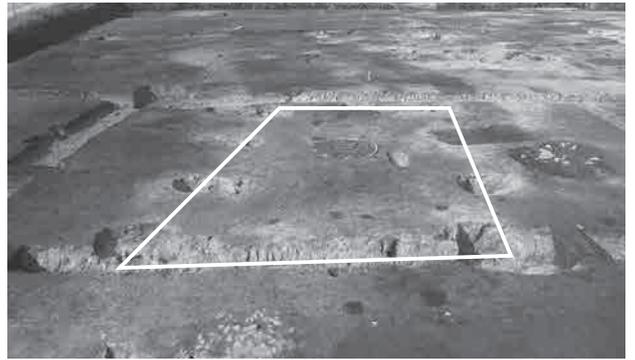


写真6 2間×3間の建物跡（南から）



写真7 遺構の集中区域（南から）



写真4 搦鉢型の井戸跡（東から）



写真8 直角に曲がる溝跡（南から）



写真5 寸胴型の井戸跡（南から）



写真9 土師器の坏（南から）



写真10 石鉢（西から）